

月刊 仙台三高演劇部

1月の主な活動（活動場所：1階多目的室〔1年4組と5組の間〕）

月	日（曜日）	演劇部の活動
1	4日（木）～	春の合同公演へ向けての準備

◆あけましておめでとうございます。気持ちも新たに、2018年を仙台三高演劇部飛躍の年にできたらなあ…という仄かな、しかししぶとさのある思いのもと、とりあえず毎年同じように初春に「部員数増加」という願いをかけ、頑張っていきたいと思います。

◆8月に長野県上田市で行われる全国大会出場の切符をめぐる、高校演劇の東北ブロック大会が12月に山形市で行われました。そして、東北代表になったのは山形東高と仙台三桜高でした。宮城県からの全国大会出場は、昨年の名取北に次いで2年連続となり、これまでなかなか進出できなかった流れが、少しずつ変わりつつあるようです。山形東高も勿論ですが、県の代表として仙台三桜高にはぜひ頑張っていたいただき、宮城県の高校演劇のレベルを全国にアピールしてほしいものです。

◆そんな仙台三桜高に刺激を受けて…というわけではないですが、わが三高演劇部も、まずは5月に行われる泉館山高との合同公演に向け、始動していきます。しかも、昨年からなんとなく目覚めつつある創作脚本による上演の流れが、ここにも及び、合同公演は創作脚本に取り組むことになりました。ただ、意欲とは裏腹になかなか進展しないという問題も…。上演に至るまでに、果たしてどのような展開が待っているのか、実際の芝居以上にドラマ性を帯びつつある感じになっています。日程などは次号以降、詳細な内容をこのHPで紹介しますので、しばらくお待ちください。

◆さて、最初にも書きましたが三高演劇部の最低限の目標は部員数増加です。少人数でも演劇は可能で、実際1名や2名の部員で上位の大会に進出しているケースもありますが、あくまでレアケースです。やはり部員数は多い方が芝居の可能性が広がるだけでなく、部員同士のコミュニケーションや切磋琢磨が化学反応のように起こり、自然とやる気と雰囲気が増していきます。三高演劇部がさらに上を目指すためには、何としてもこの部分の成長が欠かせません。1月および3月の入試で三高を目指している中学生の皆さん！是非、入学後は演劇部に入り、共に高い目標を持って成長していきましょう！「何か人前で演技するって恥ずかしい…」と思っている人もいます。そんな人向けに次号、演劇部に入るメリット？を載せますので、入部のきっかけにしてみてください。